

令和7年度「小・中学生のふるさと学習作品展」表彰式 教育長あいさつ

令和7年11月1日（土）
愛媛県生涯学習センター

令和7年度「小・中学生のふるさと学習作品展」表彰式に当たり、主催者を代表して御挨拶申し上げます。

本日特別賞を受賞される皆さん、おめでとうございます。今回の受賞は、皆さんが熱心に調査・研究に取り組まれた努力の賜物であり、心からお祝いを申し上げます。

また、保護者・学校関係者の皆様におかれましても、御支援いただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

この「小・中学生のふるさと学習作品展」は、愛媛県にゆかりのある人物の業績に目を向けることで、先人への感謝の気持ちや郷土への誇りと愛情を育むこと等を願って毎年開催しており、今年度で23回目を迎えました。

本日特別賞に選定されました26点の作品は、いずれも郷土にゆかりの深い人物を題材に、自らの足で調査・研究に取り組むことによって、幅広い視点から考察し制作されたことがうかがえ、主催者としても心強く思っております。

さて、先日開催された「全国図書館大会愛媛大会」の記念講演では、四国中央市出身で、作家・作詞家であり、現在では農業の分野でも活躍されている元チャットモンチーの高橋 久美子（たかはし くみこ）さんが登壇されました。彼女は、過去に、挫折しそうになった時に、「自分が進んでいきたい方向」を信じてチャレンジし、「やりきったと思えるまでやる」という生き方を貫かれたと語っておられます。

皆さんは今回の調査・研究を通して、先人の功績だけでなく、輝かしい人生の背景にある苦労や、それを乗り越える信念について深く追求されたことでしょう。その結果、地域の生んだ先人の偉大さを再認識する

とともに、その人柄や生き方への愛着、ひいては先人を育んだ郷土への誇りと愛情を感じることができたのではないのでしょうか。

どうか愛媛の未来の担い手である皆さんには、今後もふるさと愛媛について、主体的に学び、考え、行動し、愛媛で育ったことを誇りとして、明るく、愛顔(えがお)で、生き生きと過ごされることを強く願います。

終わりにになりましたが、今回の作品展に御協力をいただき、本日御臨席賜りました関係団体の皆様方に厚くお礼を申し上げ、開会の挨拶いたします。

受賞される皆さん、誠におめでとうございます。